

## 平成22年度 特定非営利活動に係る事業計画（案）

### 1 事業実施の方針

- ・さすが市においては周辺地域の関心や出店希望者・来場者が多くなった一方地元商店の活性化にはいたらない現状である。商店街全体がさすが市を享受し同時に活動力も得る方策を検討してゆく。
- ・白寿庵の再生のための啓発活動として、さすが市での展示や風船爆弾とのかかわりの調査などをおこなう。

### 2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲および予定人数	支出見込み額(千円)
(1) 周辺地域の産業を生かした門前市の復興事業	春の第5回さすが市に続き、秋に第6回さすが市を実施する。 商工会青年部・婦人会・観光協会などにも積極的な参加を促す。	4月25日 10月10日	玉前神社鳥居前より国道までの参道	40名程度	不特定多数の生産者および地域住民など。	400
(2) 歴史的建築物を利用した立ち寄りコーナー等の開設事業	旧魚民の空き店舗を借り、さすが市においての展示、宵宮や年末年始末に参拝者などへの休憩の場と地域の情報を提供する。	10月10日 または 玉前神社祭礼時、年末年始など	玉前神社参道	10名程度	不特定多数	100
(3) 一宮コンシェルジュシステム(観光システム)の構築事業	観光システムを再検討する。 他団体とも提携し、観光マップの研究、古建築や史跡のモデルコースを巡るツアーなどを試みる。	未定	町内	10名程度	不特定多数	50
(4) 旧社務所の再生・活用事業	NPO安房文化遺産フォーラムと提携し、風船爆弾の調査を白寿庵における中野部隊の存在より調査する。関連して登戸資料館の見学バスツアーも検討する。そのほか再生へむけての調査・啓発活動を、もば建築文化研究所、千葉大学モリス研究室の協力のもとおこなう。	通年		数名程度	不特定多数	100
(5) 広報事業	・ブログ、町広報、雑誌、タウン誌、新聞、Web などにおいてさすが市をはじめとする活動を広く紹介し、新たな会員の獲得にもつなげる。 ・ブログ内に白寿庵関連サイトを新設する。 ・「さすがNEW」の発行。	随時	周辺地域または全国	数名程度	不特定多数	30
(6) その他の事業	・文化・芸術の振興を図る事業として日本舞踊公演をおこなう。 ・地場製品の開発事業として葛餅と恋文せんべいの商品化をすすめる。	7月25日	ホテル一宮サイトオーツカ	10名程度	不特定多数	400
		通年		10名程度		50